

平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 1 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 26 年 1 月 20 日に鳥類調査を実施した。天気は快晴～曇、気温 3.2～9.0℃、南～北東の風、風速 1.7～2.5m/s であった。当日は中潮で、潮位は 13 時 15 分 干潮(73cm)、18 時 54 分 満潮(173cm)であった(気象庁東京検潮所)。各地点の状況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	12:46-14:20	8:50-9:35	11:00-11:40
天候	快晴	快晴	曇
気温(℃)	9.0	3.2	8.2
風向	南	北東	北東
風速(m)	1.8	2.5	1.7
備考	干潟が広く干出し、水たまりが多く出来ていた。	砂浜でゴミ拾いをする人が見られた(1人)。	干潟の干出面積は、小さかった。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった鳥類上位2種	スズガモ(11130羽) カンムリカイツブリ(312羽)	カワウ(575羽) スズガモ(316羽)	ホシハジロ(70羽) カルガモ(41羽)
その他の鳥類	カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、ダイシャクシギ、アオアシシギ、イソシギ、ハマシギ、ユリカモメ、カモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ミサゴ、ハクセキレイ	カルガモ、オナガガモ、アオサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ハクセキレイ	ヒドリガモ、マガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、キンクロハジロ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、トビ、ハクセキレイ
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>海上ではスズガモ、カンムリカイツブリが休息、採餌。</li> <li>波打ち際でカモメ類が休息。</li> <li>干潟ではシロチドリ、ハマシギなどのシギ・チドリ類が採餌。</li> <li>杭の上でミサゴが休息、摂食。</li> <li>重要種として、10種を確認(スズガモ、カンムリカイツブリ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、ダイシャクシギ、アオアシシギ、イソシギ、ハマシギ、ミサゴ)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カワウの個体数は9月よりも増加。樹上の巣に座る、巣材を運ぶ個体を確認、繁殖活動が行われている。</li> <li>海浜公園の海上でスズガモ、オナガガモが休息。砂浜ではユリカモメが休息。</li> <li>アオサギは樹上、護岸で休息。</li> <li>重要種として、2種を確認(スズガモ、オオバン)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月と比べ、カモメの種類、個体数が増加。</li> <li>干潟でアオサギ、カモメ類が休息。カモメ類が休息、採餌。</li> <li>干潟周辺の海面でカモメなどが休息、採餌。</li> <li>周辺の護岸ではオオバン、カモメなどが休息。</li> <li>杭の上でカワウ、トビが休息。</li> <li>重要種として、3種を確認(オオバン、イソシギ、トビ)。</li> </ul>



前回の調査(平成 25 年 9 月 20 日)と比べ、北方から日本へ、または日本国内を越冬のため移動する冬鳥の種数、個体数に変化が見られた。カモ類の種数、個体数が増加した。カンムリカイツブリ、オオバンの個体数が増加した。シギ・チドリ類は、北の繁殖地と南の越冬地を往復し、日本では春と秋に多く観察される旅鳥であるが、越冬する個体もあり、シロチドリ、ハマシギは前回よりも個体数が多かった。(参考文献 1)。

昨年度(平成 25 年 1 月 7 日)の調査と比較すると、スズガモの個体数は増加した(平成 25 年 1 月 : 6,682 個体 ⇒ 平成 26 年 1 月 : 11,130 個体)。葛西人工渚では、広い干潟を好むシロチドリ、ハマシギの個体数が増加した。カモメ類ではユリカモメの個体数が少なく、カモメ、セグロカモメは増加した(参考文献 2)。

お台場海浜公園の第六台場、鳥の島でカワウの繁殖活動が確認された。白い繁殖羽の個体が多く見られ、巣に座る個体、巣材運搬を確認した。また、婚姻色の表れたアオサギが数羽、確認した。サギ類は繁殖期になると、くちばしや目先、目の光彩の色、脚の色が変化し、婚姻色といわれる鮮やかな色になる。アオサギの場合くちばしの根元、脚がピンク色になる。アオサギの産卵期は 4 月~5 月であるため、本格的な繁殖活動は、まだ行われていないと思われる。



スズガモとカンムリカイツブリの群れ(葛西人工渚)  
海面で休息する個体のほか、潜って採餌する個体も確認された。





カワウ(お台場海浜公園)

第六台場、鳥の島の樹上で、巣に座る個体が多数見られた。  
繁殖期になると頭部と腿部(太もも)に白い羽毛が生える。



アオサギ(お台場海浜公園)

第六台場、鳥の島の樹上、護岸で休息する。  
繁殖期が近づき、くちばし、脚が婚姻色のピンク色に変化している。





オオバン(森ヶ崎の鼻)  
護岸で休息する。  
黒い体に、くちばしと額の白色が目立つ。



セグロカモメ(中央)とカルガモ(森ヶ崎の鼻)  
干潟で休息するカルガモ。  
カワウから奪った魚を食べようとするセグロカモメ。

#### 参照文献一覧

- 1 東京都環境局水環境課、平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 9 月鳥類調査 速報、[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/water/tokyo\\_bay/attachement/H250920%E9%B3%A5%E9%A1%9E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1.pdf](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/water/tokyo_bay/attachement/H250920%E9%B3%A5%E9%A1%9E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1.pdf)、(2014/1/27)
- 2 東京都環境局水環境課、平成 24 年度 東京都内湾水生生物調査 1 月鳥類調査 速報、[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/water/tokyo\\_bay/attachement/H250107%E9%B3%A5%E9%A1%9E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1.pdf](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/water/tokyo_bay/attachement/H250107%E9%B3%A5%E9%A1%9E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1.pdf)、(2014/1/27)